

# RM TOYS



特集

コナミ・デジQトレイン

## 第3弾車輜ラインナップ発表!

取材：RMM/写真：嶋田 聡

取材協力：コナミ株式会社 <http://www.konami.co.jp/cp/>

© 2002 KONAMI



JR西日本・JR東海承認済

12月発売予定の第3弾車輜ラインナップ。国鉄全盛期の名車たちが勢ぞろい。

車輜、線路共に充実してきていよいよ面白くなってきたコナミ・MICRO iR™ デジQトレイン（以下デジQトレイン）。今夏JAMコンベンションのブースで行なわれたデモンストレーションで、その面白さを体感した方も多いことだろう。その際、第3弾の車輜4種のサンプルが展示されていたのに目を奪われたファンもまた多かったのではないだろうか。その顔ぶれは...、国鉄往年の名車がズラリ！ 新幹線0系、583系、165系、そしてキハ58系と来た！ いずれも昭和30～40年代の国鉄黄金時代を代表する名車たち。やってくれますコナミさん。

特筆すべきなのは単に往年の名車をプロトタイプに選んだということではない。165系は「大目玉」、キハ58系は前面平窓車...という具合で、実物が登場した当時のオリジナルにあくまでこだわり、その姿を忠実に反映しているのだ。手の平に載せてとっくりと眺めてみれば、古き良き国鉄全盛期の薫りがたちのぼってくるようだ。

造形のクオリティもあいかわらず高い。0系

の鼻づら、モハネ582のパンタグラフ廻り、165系の客室窓のサッシやキロ28の窓棧の表現など、例をあげればキリがない。583系の上・中段寝台部分の小窓もスッキリ抜けている。

車種が増えてきたことでテーマ別のコレクションが楽しめるようになってきたのも嬉しい。この顔ぶれを見れば往年の国鉄幹線をテーマに充実のコレクションを揃えたいのは人情だ。しかもMICRO iR技術を駆使した高度な運転を楽しめるのだから、国鉄全盛時代を再現したレイアウトで思いっきり走らせてやりたい。まずは山陽本線あたりが有望か...。夢は果てしなくひろがる。だがコンパクトなデジQトレインなら、決して実現不可能ではない。

コナミ・デジQトレインの車輜第3弾ラインナップは年末発売予定。本誌発売直前の9月19日には、第2弾車輜4種（700系新幹線、253系、205系、キハ183系）やポイントなどが発売。11月には駅セット（島式ホーム・対向式ホームの両方）や新幹線700系ひかりレールスターを含むデラックスセットのリリースも予定されている。こちらもお見逃しなく。



583系と165系の顔合わせ。高度成長日本を代表する顔だ。



モハネ582の特徴ある屋上の造形もご覧の通り。



上・中段寝台部分の小窓もスッキリ抜けているのわかるかな？



JR西日本・JR東海承認済

卵を思わせる新幹線0系の独特のフォルムを的確に再現。



元祖新幹線0系の貫禄ある面構え。JR西日本・JR東海承認済



583系の特徴ある正面もこの通り。



165系のマスク。大目玉！



キハ58正面。平窓車がプロトタイプ。